

//////////
会 告
//////////

第 118 回（平成元年秋季）講演大会講演募集案内

申込み（原稿同時提出）締切り 平成元年 6 月 23 日（金）

本会は第 118 回講演大会を平成元年 9 月 29 日（金）、9 月 30 日（土）、10 月 1 日（日）の 3 日間北海道大学（札幌市北区北 13 条西 8 丁目）において開催することになりました。下記により講演募集をいたしますので、奮ってご応募下さいますようお願いいたします。

講演ならびに申込み要領

1. 講演内容
 - 1) 別記 13. 「講演申込分類表」の学術・技術に直接関連あるオリジナルな発表
 - 2) オリジナルな研究のほか、委員会において企画した総説、解説等の講演
2. 講演時間
 - 1 講演につき講演 15 分
3. 講演概要原稿
 - 1) 講演原稿および講演は原則として日本語とするが、英語でも可いたします。英文で投稿される場合は 12. へ問い合わせ下さい。
 - 2) 原稿は目的、成果、結論が理解しやすいよう簡潔にお書き下さい。
 - 3) 設備技術に関する原稿には計画にあつての基本方針、特色、成果等が必ず盛り込まれているものとする。
 - 4) 商品名・略号等は表題ならびに本文いずれにおいても原則としてご遠慮願います。
 - 5) 本文中の表題には英文を付し、筆頭著者の氏名、連絡先を英文で脚注に記載する。（N163 ページの記載例を参照する）
 - 6) 連報形式講演の表題は下記の例に従つて記載する。
2次元溶鋼流れの電磁制動に関する実験と解析
（溶鋼流れの電磁制動に関する基礎的研究-1）
Experiment and Analysis on the Electromagnetic Brake in the Two Dimensional Steel Flow (Study on the Electromagnetic Brake of Molten Steel Flow - 1)
 - 7) 図、表、写真中の表題ならびにその中の説明は、英文といたします。
 - 8) 謝辞は省略して下さい。
 - 9) 原稿枚数は原則として所定のオフセット用原稿用紙（1600 字詰）1 枚とします。しかし内容的にやむを得ない場合は 2 枚まで認めます。（いずれも表、図、写真を含む）ただし編集委員会で査読のうえ 1 枚にまとめなおし願うことがありますのであらかじめご了承下さい。
 - 10) 原稿はワープロ、タイプ印書あるいは黒インキまたは墨を用い手書きとして下さい。
 - 11) 単位は「鉄と鋼」投稿規程に準じます。
 - 12) 原稿用紙は有償頒布いたしております。

4. 講演申込み資格

講演者は本会会員に限ります。非会員の方で講演を希望される方は、所定の入会手続きを済ませたうえ、講演申込みをして下さい。また共同研究者で非会員の方も入会手続きをなされるよう希望いたします。

5. 講演申込み制限

- 1) 講演申込みは 1 人 3 件以内といたします。
- 2) 連続講演は原則として一講演あたり 3 報までとします。ただし連報形式として申し込まれてもプログラム編成の都合により連続して講演できない場合がありますのでご了承下さい。

6. 申込み方法

本誌会告末に添付されております講演申込み用紙ならびに受理通知葉書に必要事項を記入の上、講演論文原稿とともに申込み下さい。

7. 申込み用紙の記載について

- 1) 申込み用紙は (A)、(B)、(C) とともに太字欄をのぞき楷書でご記入下さい。（申込み用紙および受理通知葉書は本誌会告末に綴り込まれております。）
- 2) 講演申込分類の記載
講演プログラム編成上の参考ならびに講演論文集への掲載分冊の参考といたしますので「講演分類欄」(A, C)

に講演内容が、「13. 講演申込分類」のいずれに該当するか、分類番号を必ずご記入下さい。また、指定テーマの講演をお申込みの場合は、申込用紙“特記事項”欄に指定テーマ名をご記入下さい。

- 3) 講演者には氏名の前に○印を、また研究者氏名には (A) は会員番号を、また (C) はフリガナを付して下さい。
- 4) 講演要旨 (C) は、データ・ベース入力原稿となりますので講演内容が明確に把握できるようおまとめ下さい。

8. 申込みの受理

下記の申込みは理由のいかんにかかわらず、受理はいたしませんので十分ご注意下さい。

- 1) 所定の用紙以外の用紙を用いた申込み
- 2) 必要事項が記入されていない申込み
- 3) 単なる書簡または葉書による申込みならびに電報、電話による申込み
- 4) 鉛筆書き原稿、文字が読みづらいもの、印刷効果上不適当と認められるもの
- 5) 表題および、筆頭著者の氏名、連絡先の英文が付されていないもの
- 6) 図、表、写真が英文でないもの

9. 受理後の取扱い

- 1) 応募講演に対しては受理通知を送付いたします。
- 2) 応募講演原稿は編集委員会において査読いたします。なおその結果修正などを講演者に依頼することがあります。
- 3) 講演プログラムは7月上旬に決定されます。「鉄と鋼」9月号(9号)に全体の講演プログラムが掲載され、9月上旬発行の「材料とプロセス」(3分冊)に該当の講演プログラムおよび講演論文が掲載されます。
- 4) 8月下旬以降に各講演者には講演に当たつての注意、スライド作成方法ならびに、ネームカード等を送付いたします。

10. 講演原稿取り下げ プログラム決定後の講演原稿の取り下げはお断りいたします。

11. 申込み締切日 平成元年6月23日(金)17時着信まで
申込み用紙、講演論文原稿および原稿受理通知葉書を同時提出のこと。

12. 申込み先 〒100 東京都千代田区大手町1-9-4 経団連会館3階(社)日本鉄鋼協会編集課
問合せ先 (電) 03-279-6021 (代)

13. 講演申込分類表

(注1) 講演申込書の「講演分類欄」に下記講演分類のいずれに該当するか、必ず番号を記入下さい。

(注2) 講演申込分類の変更

講演プログラムの編成に当たつて、討論がより活発になり、また聴講者にとつても有益だと考えられる場合は、編集委員会の判断で講演申込分類を変更する場合がありますので、あらかじめご承知おき下さい。

(注3) 講演申込に当たつて不明な点がございましたら、上記12.へ問い合わせ下さい。

講演申込分類

掲部 載号 ・門	No. 1 (春季), 4 (秋季)											No. 2 (春季), 5 (秋季)												No. 3 (春季), 6 (秋季)											
	製 鉄			製鉄・製鋼 共通				製 鋼				萌芽・境界領域				加工・システム・利用 技術				分 析・ 表面処理				材料の組織・性質											
分類 番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35
項 目	原料・燃料	製 錬	その他	高温物理化学(*1)	新製鉄法(溶融還元を含む)	溶鉄処理	耐火物・スラグ	その他(*1)	精 錬(*1)	鑄造・凝固(*1)	その他(*1)	チタン	セラミックス・接合	粉末・急冷金属	複合材料	新素材・新プロセス(*2)	圧延・精整	加熱・冷却	成形加工(*3)	鑄造加工・粉末加工	計測・制御	システム・情報処理	溶接・鋼構造	その他	分 析	表面処理・防食	環境管理	その他	基礎物性	熱処理・組織	強度・靱性・破壊	塑性・加工性	高温特性	腐食・耐食性	その他

*1) 従来の電磁気利用、センサーの利用はこれらに含める。
 *2) 超塑性材料、磁性材料、超電導材料、電子部品材料、形状記憶合金、水素吸蔵・透過合金、金属間化合物、医用材料、センサー素子、電磁気冶金、新製精錬、新凝固、エネルギー転換法、その他
 *3) 板成形、鍛造、押出し、引抜き、曲げ、剪断・切削、ロール成形など

14. 第 118 回講演大会討論会，指定テーマ（注）講演をお申込みの場合は，申込用紙中の“特記事項”欄に討論会名または指定テーマを必ずご記入下さい。

— 表面処理と萌芽・境界領域部門討論会 —

＜テーマ：気相めつき討論会＞

— 真空気相処理は材料表面を如何に改質できるか —

気相処理による材料表面改質の研究は近年鉄鋼業においても非常に盛んとなり，蒸着 Zn めつきは工業化され，パイロットプラント規模では各種 Zn 合金めつきの優れた性能が公表されはじめた。ラボスケールではさらに多種の表面処理が試みられ，数多くの興味ある知見が得られていると推定される。

秋季講演大会における当討論会において，以下の内容を中心に討論致したく考えておりますので，関連する講演の投稿をお待ちいたします。

- ① 被処理材
鋼材，ステンレス，Ti など金属材料とし，切削工具，ロール，エレクトロニクス関連など，製品は含まない
- ② 処理法
蒸着，CVD，PVD など
- ③ 処理層
金属，セラミックス，有機被膜など
- ④ 性能
耐食性，塗装性，耐摩耗性，色調，加工性，被膜構造など

製造法よりも性能評価を中心に議論する。

◆ 原稿枚数：所定の原稿用紙 1～2 枚

— 加工・システム・利用技術部門指定テーマ —

＜鋼構造物＞

鋼構造物材料の利用技術に関し，学識経験者との積極的な情報交換，技術交流，討論の機会を設けることを目的として，第 118 回講演大会では下記の依頼講演を予定しております。

- (1) 寒冷地における建築鉄骨の溶接について

北海道大学工学部 建築工学科教授 柴田 拓二

- (2) 寒冷地における橋梁用鋼材の利用技術について

北海道大学工学部 土木工学科教授 渡辺 昇

また，一般からの応募講演として，土木，建築，海洋構造向に新材料の構造特性，鋼材の新利用技術などに関する基礎から応用までの技術論文を広く募集しますので，ユーザー，メーカーからの奮つての参加をお願いいたします。

— 萌芽・境界領域部門指定テーマ —

＜セラミックス＞

指定テーマ（セラミックス）に関しては，構造用セラミックスを中心に，焼結，成形，加工などの製造技術および成形体の特性と評価についての講演ならびに金属-セラミックス接合に関する講演を募集いたします。

第 118 回講演大会では下記の依頼講演を予定しております。

ファインセラミックスの接合技術とその応用（仮題）

(株)東芝 新素材事業部 粉末冶金部長 高塩 治男

— 萌芽・境界領域部門指定テーマ —

＜超電導＞

指定テーマに関しましては，金属系，酸化物超電導材料，超電導を支える低温用構造材料及びその物性，プロセス，応用などに関する講演を広く募集いたします。

第 118 回講演大会では下記の依頼講演を予定しております。

酸化物超電導体の臨界電流密度（仮題）

九州大学 工学部 電子工学科 助教授 松下 照男